

庄内川の水辺環境を活かした 官民協働のまちづくり

愛知県清須市

清須・あま・大治かわまちづくり協議会 / 清須市

庄内川沿川の清須市西枇杷島地区では、平成12年の東海豪雨によって甚大な被害を受けました。このため河川激甚災害特別緊急事業により復旧が行われ、その後の環境整備事業等により、庄内川西枇杷島緑地をはじめとする庄内川河川敷一帯は、現在では自然豊かな水辺環境を形成しており、地域住民の貴重な緑地となっています。

清須・あま・大治かわまちづくり協議会は、庄内川河川敷の利活用を目的に清須市内の学校、市民、まちづくり団体などによって、平成21年4月に設立され、平成24年度からは、近隣市町を取り込んだ広域的な協議会(約60団体が参画)として再出発しました。

当会の活動は日々の清掃活動、河原撫子などの

固有種の植生の回復、河川敷に広がる水辺環境を活用した環境学習、かつて青物市場があった頃の賑わいを復活(みずとびあ庄内朝市を月1回開催)させるなど、様々な取組を行っています。

また、当該エリアだけでなく上流域の環境保全にも力を入れており、流域全体を見据えた広域的な地域づくり活動を行っています。

環境学習をきっかけに多くの子供達が河川敷を訪れるようになり、また、みずとびあ庄内朝市は7年目を迎え、今ではすっかり定着した催しになっています。市内外からの集客も徐々に増え、行政と住民が連携して多彩な活動を展開することにより、水辺環境への愛着が着実に育っています。



年間を通して自然環境に触れている



河原撫子を植える協議会員



みずとびあ庄内朝市で賑わう様子



水辺環境を活用した環境学習



花火大会後の河川敷を清掃する中学生

- ◆所在地
愛知県清須市西枇杷島町地内
- ◆活動内容
清掃活動、小学生や幼稚園児への環境学習、植生回復活動、みずとびあ朝市(毎月第三日曜日)、かわまち通信の発行など
- ◆活動主体名及び連絡先
清須・あま・大治かわまちづくり協議会(052-400-2911)
※功労者名: 松坂 吉昭(清須・あま・大治かわまちづくり協議会 会長)
- ◆対象となる社会資本
庄内川西枇杷島緑地 他



手づくり郷土賞

講評

一般部門

大賞部門

資料集